

いろいろな歴史ふれあい館開館二〇周年記念特別展

信州赤塩焼

北信濃に残る陶工の技

平成30年

10月13日(土)～12月16日(日)

主催：飯綱町教育委員会・いろいろな歴史ふれあい館
共催：赤塩焼啓発委員会

〈記念講演会〉

信越線の建設工事と煉瓦―戸草トシネルと赤塩煉瓦

小西 純一氏

(信州大学名誉教授、土木・環境しなの技術センター理事長)

赤塩焼の歴史

小柳 義男 (当館館長)

日時：11月3日(文化の日) 午後1時30分～4時30分

会場：飯綱町民会館 (当館となり)

いろいろな歴史ふれあい館

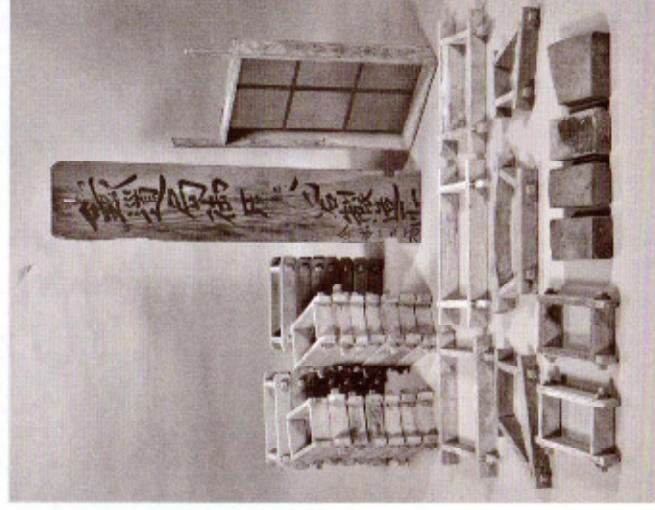
開館時間：9時～16時30分(入館は16時まで) 休館日：月曜日(祝祭日の場合は翌日)、祝祭日の翌日
入館料：一般300円(250円) 小・中学生150円(120円) * () 内は20人以上の団体料金 * 飯綱町に住所を有する者は無料

〒389-1211 長野県上水内郡飯綱町牟礼1188-1 TEL: 026-253-6646 FAX: 026-253-6649
URL <http://www.town.izuna.nagano.jp/> (飯綱町公式HP) E-mail: rekifure@town.izuna.nagano.jp

幕末から昭和初期にかけて、現在の飯綱町赤塩で小林栄十郎・作治郎の父子二代の陶工が操業した焼き物を「赤塩焼」と呼んでいます。信州最北辺の窯で、庶民の暮らしに必要な生活雑器がつくれ、焼き物の大産地から遠いこの地域の人々に歓迎されたといわれます。整った器形に美しい釉薬のかけられた作品からは、小林父子の確かな技法がうかがえます。展示では窯元の小林家に伝来した作品を中心に、本焼き・素焼きの多様な作品約40点を紹介。陶工が使った道具や記録文書も展示します。



明治19年(1886)小林作治郎は長野県内に初めて建設された鉄道「信越鉄道」の敷設に使用するレンガの製造を請負い、県内で初めてのレンガ工場「廉価舎(れんがしゃ)」を設立しました。赤塩焼のレンガは日本のインフラ近代化に大いに貢献したのです。展示ではレンガの型枠や製造道具なども展示します。



〈陶芸体験〉

赤塩の粘土を使って陶器を作ってみましょう
日時：10月27日・11月24日・12月15日
 (各土曜日)

午後1時～3時

会場：旧三水第二小学校(飯綱町赤塩)

講師：富高 俊一氏(飯綱町地域おこし協力隊員)

定員：各回10人(申込先着順)

*小学生以下は保護者同伴

体験料：1,000円

電話で歴史ふれあい館(026-253-6646)へお申込みください

〈展示説明会〉

当館職員が展示を説明します

日時：10月20日(土)・11月10日(土)・12月2日(日)

各回とも午後1時30分～2時30分

交通アクセス

- 電車の場合
 しなの鉄道北しなの線
 「牟礼駅」から徒歩30分
 タクシーで5分
- 車の場合
 上信越自動車道
 「信州中野I.C.」から20分
 「信濃町I.C.」から30分
 長野市街地から
 県道60号(長野荒瀬原線)
 で30分

